

# 子ども農山漁村交流プロジェクトセミナー

～子ども達のために！農山漁村の未来のために！～

子ども農山漁村交流の新たな取組やさらなる進展を考えている団体等の皆様へ、特別講演や取組事例の発表をもとに、学校等の送り側と農山漁村地域の受入側による協働で取り組む重要性、課題解決の方向性を考える機会のほか、関係者のネットワークを形成するセミナーを開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。



特別  
講演



事例  
紹介

## ● 送り側

江戸川区教育委員会事務局指導室

指導主事 岡田 卓也 氏

指導主事 関 直也 氏

## ● 受入側

木古内町産業経済課水産商工グループ

主査 福井 弘生 氏

## ● 先進事例

株式会社ノースプロダクション

代表取締役 近江 正隆 氏

## 「子供農山漁村体験の果たす役割と教育的意義 ～送り側と受入側の協働による取組への期待～」

(独) 国立青少年教育振興機構

青少年教育研究センター 参事 小林 真一 氏

## 〈過去のセミナー参加者の声〉

- 子どもに学ばせるべき内容と指導方法の工夫について参考になった (受入関係者)
- 活動の意義や呼びかけ方など実際に活動している方の話を聞くことが出来て大変参考になった (自治体職員)
- 行政、学校、地域それぞれの立場から宿泊体験活動の課題と成果について考える機会となった (コーディネーター)

■ 開催日：2020年2月7日(金)

■ 時間：12:45～16:50 (開場 12:00)

■ 対象者：行政職員、学校教職員、教育委員会、PTA・NPO 関係者、受入地域団体、教育や地域づくりに関心のある方等 (一般の方もぜひご参加ください！)

■ 参加費：無料 (定員 60 名) ※事前申込制  
※定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

■ 会場：札幌国際ビル 8階国際ホール  
(札幌市中央区北4条西4丁目1 011-241-9020)

### ▶ アクセス

[http://www.itogumi.jp/kokusai\\_hall/access/index.html](http://www.itogumi.jp/kokusai_hall/access/index.html)

※無料の駐車場はありません。  
最寄りの有料駐車場をご利用ください。



地上からは「さっぽろ駅」8番出口横が札幌国際ビルの入口

## 《プログラム》

- 12:45 開会・挨拶  
12:50 国の施策説明  
総務省、内閣官房、文部科学省、農林水産省、環境省  
13:20 特別講演「子供農山漁村体験の果たす役割と教育的意義  
～送り側と受入側の協働による取組への期待～」  
(独) 国立青少年教育振興機構  
青少年教育研究センター 参事 小林 真一氏  
14:10 (休憩)  
14:20 事例紹介  
●送り側  
江戸川区教育委員会事務局指導室  
指導主事 岡田 卓也氏 / 指導主事 関 直也氏  
●受入側  
木古内町産業経済課水産商工グループ  
主査 福井 弘生氏  
●先進事例  
株式会社ノースプロダクション  
代表取締役 近江 正隆氏  
15:50 講師・事例発表者と参加者との直接対話、交流  
16:50 閉会  
※諸事情によって演題等を変更する場合があります。  
あらかじめ御了承下さい。

### ●特別講演 講師プロフィール

独立行政法人 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター 参事 小林 真一氏

#### ■専門分野

青少年教育、青少年の体験活動（教育学修士、社会教育主事資格、中学校・高等学校教員免許状）

#### ■職歴・経歴

昭和57年 千葉県公立中学校教員、平成7年 国立磐梯青年の家専門職員（千葉県から出向）

平成10年 国立オリンピック記念青少年総合センター専門職員

平成15年 独立行政法人国立少年自然の家国立山口徳地少年自然の家事業課長

平成19年 独立行政法人国立青少年教育振興機構教育事業部企画・推進課長

平成25年度 同国立諫早青少年自然の家 所長、平成28年度 同国立山口徳地青少年自然の家所長

平成30年度 現職

文部科学省中央教育審議会 専門委員 初等中等教育分科会委員（平成27年）

長期宿泊体験活動の受入先による学校支援の役割に係る事例調査委員長

（文部科学省平成30年度いじめ対策・不登校支援等推進事業「学校教育における長期宿泊体験活動の導入促進に関する調査研究」委託業務）

### ●江戸川区における「自然と人の温かさを学ぶ充実した体験交流活動」

江戸川区では、これまで区内小学校や地域野球チームが北海道で民泊を行い、都市部と農山漁村部との交流を行ってきました。今年は新たに山形県鶴岡市との交流を進めるとともに、北海道木古内町とは希望する児童（小学校5・6年生対象）が民泊やお寺体験、酪農体験等を行う、自然体験交流事業を開始しています。

### ●「木古内まちづくり体験観光推進協議会」の取組

木古内まちづくり体験観光推進協議会は、観光協会や商工会、漁協、農協、木古内町が中心となり、農業・漁業体験や自然体験などのメニューを通して、様々な人々と触れ合うことで当町の魅力を体感してもらうことを目的に平成20年度から体験観光に取り組んでいます。

北海道新幹線で繋がる東北エリアからの参加がメインとなっており、地引網体験や搾乳体験、民泊体験、お寺宿泊体験などを行っています。

### ●「子ども農山漁村交流」を進めるために展開してきた(株)ノースプロダクションの取組

①受入組織の立ち上げ（北海道十勝地域において19市町村広域で行う農村ホームステイの窓口組織である「NPO法人食の絆を育む会」を設立。）

②体験活動の意義を教育現場に伝える取組（JA北海道グループ・青年部と連携した教員や教員養成課程の学生を対象とした農村ホームステイの実施）

③農村地域の小学生を対象とした体験活動を実施（子ども達が地域への愛着の醸成するカリキュラムの開発と実施に向けたコーディネート）

④事後学習プログラムの開発（体験を一過性のものとし、学びのプログラムをホームステイを体験した教員と連携し作成し、実施）

## 【北海道会場】お申し込み方法

※令和2年1月31日(金)までにお申し込みください。

☆☆ 以下の申込表に必要事項を記入いただき、メール・FAXでお申込みください。☆☆

フリガナ		都道府県名	都道府県
氏名		市区町村名	市区町村
所属		役職	
連絡先電話		連絡先メール	
フリガナ		都道府県名	都道府県
氏名		市区町村名	市区町村
所属		役職	
連絡先電話		連絡先メール	

※書き込みきれない場合は、別紙に「氏名・都道府県名・市区町村名・所属・連絡先」をご記入いただきお申し込み下さい。  
※今回いただきました参加者の個人情報、当事業の運営及び参加者へのご案内・お問合せ以外には使用いたしません。

### 【お申し込み・お問い合わせ】ランドブレイン株式会社 本社地域経営グループ（本事業受託事業者）

Mail : kodomoproject@landbrains.co.jp Fax : 03 (3264) 8672

お問い合わせ先 : Tel : 03 (3263) 3811 担当 : 齋藤、山内